

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ケインズ伝 \(6\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

ケインズ伝 (6)

ケインズ理論には、資本主義システムを不安定性、不確実性、複雑性に満ちたものとしてとらえる、という側面があります。

これが今の世界経済の金融破綻を経験する中で多くの経済学者たちの注目を浴びています。

今回の危機で、人間の行動をどう説明するのかについて、そして、経済学で道徳的な判断が果たす役割について、幅広い問題が注目されています。

経済成長、グローバル化、正義、環境などにどのような姿勢をとるかも問われています。

ケインズはこれらの点についてどう考えていたのかといえば、経済成長だけを追求しているとき、人間にとって重要な目的のうち何が犠牲になるかを考えていました。

経済成長が目的のための手段だとしたら、目的は何であり、どれだけ成長すれば十分なのでしょう。

一時は各国政府がこぞ採用したケインズ経済学は、なぜ古典派経済学と自由主義原理に敗れたのでしょうか。そしていまなぜ復活しようとしているのかを、私たちは学ぶ必要があります。

ケインズは偉大な経済学者であるとともに哲学者でした。

ケインズの哲学的、経済的、政治的思考は、実際には存在しえない理想化された世界ではなく、私たちが現実に暮らしている世界に基礎を置いています。

ケインズの哲学においては、「不確実性」が実質的に人間のすべての信念と行動に広がっています。

われわれは永遠に様々な不確実性の網に囚われています。

ケインズの「確率論」もこの「不確実性」という概念と結びついています。

ケインズによれば、われわれの論理的直感が十分に強くなければ、われわれは確率を知覚することができないといえます。

彼の著作を貫く中心的なテーマは、理論的あるいは実践的な「合理性」です。

彼の哲学は、「不確実性」下における「合理的」な信念と活動の理論と考えてもよいかと思えます。

それは人間社会にも科学にも永遠に関連するテーマです。

[\(7\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.